

令和7年1月29日(水)

図書新聞

愛媛県立新居浜商業高等学校図書委員会 VO1.8

今年度最後の図書新聞となりました。3年生は、もうすぐ卒業です。まだ、図書室の本を借りている生徒がいましたら、至急返却してください。

図書委員オススメの本！

書名 『1998年横浜高校 松坂大輔という旋風』 陽順行 著

1997年(このときの松坂たちは2年)の夏の敗戦以降そこから無敗。個人的にはチームの完成度も高く、歴代最強だと思う。その無敗、春夏連覇の横浜高校の試合や選手たち、相手の高校の様子などが描かれていて、非常に面白い。表しか映さないテレビからでは分からないことが盛沢山なので、ぜひ読んでみてください。

著作権保護により
非表示

書名 『かがみの孤城』 辻村 深月 著

学校での居場所をなくし、閉じこもっていたところの目の前で、ある日突然部屋の鏡が光り始めた。輝く鏡をくぐり抜けた先にあったのは、城のような不思議な建物。そこにはちょうどところに似た境遇の7人が集められていた。なぜこの7人が、なぜこの場所に。すべてが明らかになるとき、驚きとともに感動に包まれます。

著作権保護により
非表示

現在アニメ放送中の、「わたしの幸せな結婚」「天久鷹央の事件カルテ」の原作本が図書館にあります。是非読んでみてください。

新任の先生のオススメ本



☆加藤 啓太先生



書名 『甲子園！名将馬淵語録～明德義塾野球部監督 馬淵史郎の教え～』 寺下 友徳 著

・あらすじ

甲子園歴代4位の54勝を果たし、高校野球の世界で異彩を放つ名将馬淵史郎氏は西予市三瓶町出身の明德義塾高校野球部監督である。1992年の夏の甲子園では、後にメジャーリーグで活躍する松井秀喜氏を5打席連続敬遠にした試合によって世間に大きな論議を巻き起こした。私が高校野球を大好きになったきっかけも2002年の夏の甲子園で初優勝した明德義塾を観戦したからだ。「野球の知識」や「勝利へのこだわり」はもちろん、「人生論」や「高校生に伝えたいこと」などユニークな表現と独特な言い回しで伝える馬淵氏の考え方を学ぶことができる一冊である。

著作権保護により
非表示

・オススメポイント

「勝ちも偶然、負けは必然」と馬淵氏は語っている。私はこの言葉が好きだ。スポーツに限らず、自分自身の大事な場面(検定試験や就職・進学試験など)にも置き換えることができる。馬淵氏は勝負の日を迎えるまでの過程で勝敗はほぼ決まると伝えている。高校生の皆さんにも様々な人の価値観や考え方について学んでほしい。是非ご一読あれ。

・新刊本紹介・

- ・「頂を目指して」 石川 祐希 著
- ・「すべての恋が終わるとしても」 冬野 夜空 著
- ・「5分後に泣き笑いのラスト」・「5分後に不気味なラスト」
- ・「ないものわだいの君に光の花束を」 汐見 夏衛 著

